

## 製品名: Ub ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19488

研究使用のみ

### 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

### 抗原情報

遺伝子名	ub
別名	
遺伝子 ID	7314.0
SwissProt ID	P0CG47/P0CG48/P62979/P62987
免疫原	AA 範囲: 1-50 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

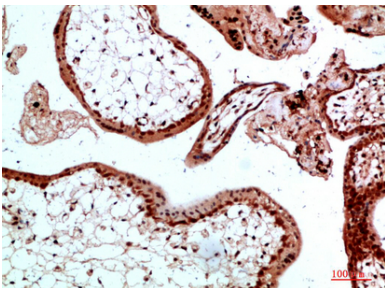
### 背景

この遺伝子は、最も保存性の高いタンパク質として知られるユビキチンをコードしています。ユビキチンは、細胞タンパク質を 26S プロテオソームによる分解の標的とすることに重要な役割を果たしています。また、クロマチン構造の維持、遺伝子発現の調節、ス

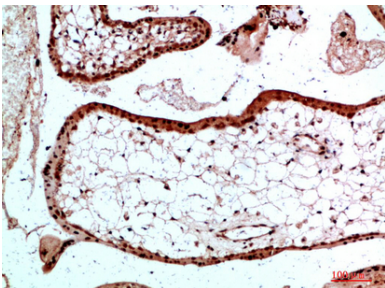
トレス応答にも関与しています。ユビキチンは、ポリユビキチン鎖、または無関係なタンパク質に融合した単一のユビキチン部分からなる前駆体タンパク質として合成されます。この遺伝子は、スパーサー配列のないユビキチンコード配列の3つの直接的な繰り返りで構成されています。その結果、このタンパク質は、最後の繰り返しの後に最後のアミノ酸を持つポリユビキチン前駆体として発現されます。アルツハイマー病およびダウン症候群の患者で、このタンパク質の異常型が検出されています。この遺伝子の偽遺伝子は、1番、2番、13番、および17番染色体上に位置しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeqにより提供]機能:モノマーまたはリジン結合ポリマーとして標的リジンに共有結合できるタンパク質修飾子。Lys-48結合ポリマーとしてタンパク質に結合した場合、通常はプロテアソームによる分解が起こります。モノマーまたは代替結合ポリマーとしてタンパク質に結合した場合はプロテアソームによる分解は起こらず、クロマチン構造の維持、遺伝子発現の調節、ストレス応答、リボソーム生成、DNA修復など、さまざまな機能に必要である可能性があります。、その他:このリボソームタンパク質は、ユビキチンのC末端延長タンパク質(CEP)として合成されます。、その他:ユビキチンは、正確な頭尾反復配列を持つポリユビキチン前駆体として合成され、反復数は種や株によって異なります。種によっては、最後の反復配列の後に最後のアミノ酸があり、ヒトの場合はValです。一部のユビキチン遺伝子には、リボソームタンパク質(L40またはS27a)に融合したユビキチンの単一コピーが含まれています。、PTM:組み立てに使用されるリジンに応じて、いくつかの種類のリジン鎖を形成できます。、類似性:リボソームタンパク質S27Aeファミリーに属します。、類似性:ユビキチンファミリーに属します。、

## 研究分野

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された